

2009年3月期 決算説明会

2009年5月11日

<http://www.tv-asahi.co.jp>

NEW AIR, ON AIR.
tv asahi



常務取締役
経営戦略室長

神山郁雄



2009年3月期の業績概況

連結 (百万円)	2008年3月期	2009年3月期	前期比	増減率
売上高	252,746	247,192	△ 5,553	△ 2.2%
営業利益	9,976	2,015	△ 7,961	△ 79.8%
経常利益	12,080	3,444	△ 8,635	△ 71.5%
当期純利益	6,422	△ 1,716	△ 8,138	—

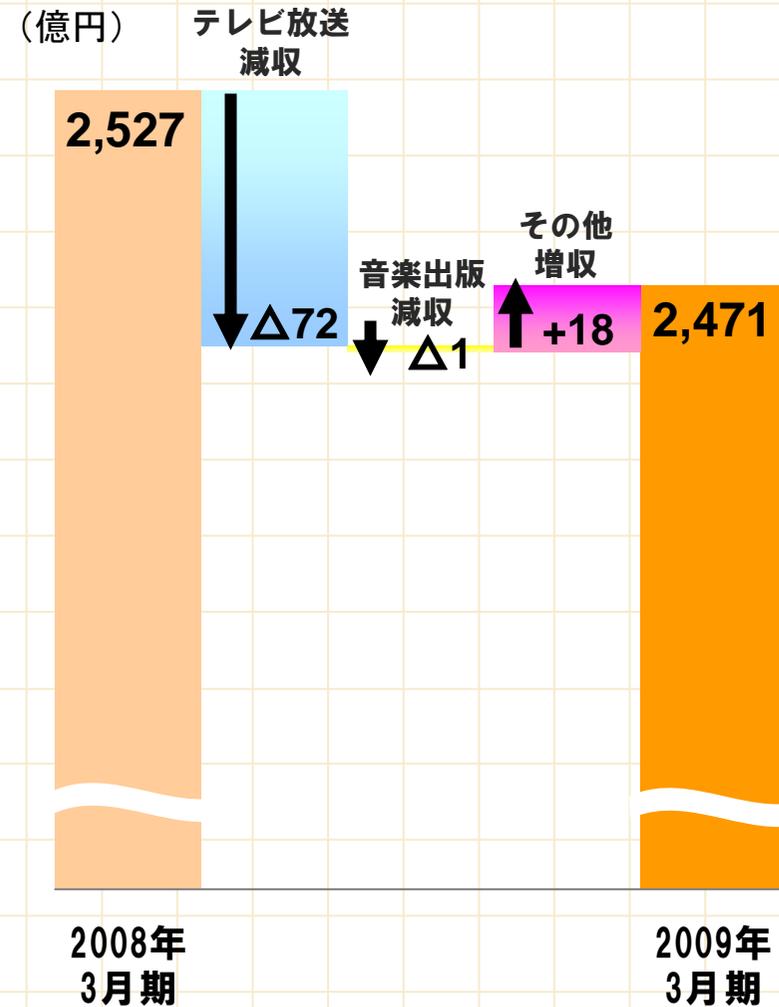
個別 (百万円)	2008年3月期	2009年3月期	前期比	増減率
売上高	230,144	220,931	△ 9,213	△ 4.0%
営業利益	6,105	△ 1,527	△ 7,633	—
経常利益	7,470	705	△ 6,765	△ 90.6%
当期純利益	3,847	△ 2,078	△ 5,925	—

要約連結貸借対照表

(百万円)	2008年3月末	2009年3月末	前期末比	増減率
流動資産	167,179	132,500	△ 34,678	△ 20.7%
固定資産	146,176	167,810	21,633	+ 14.8%
資産合計	313,356	300,311	△ 13,044	△ 4.2%
流動負債	52,987	49,490	△ 3,496	△ 6.6%
固定負債	14,927	14,669	△ 257	△ 1.7%
負債合計	67,914	64,160	△ 3,754	△ 5.5%
株主資本	239,128	234,393	△ 4,734	△ 2.0%
評価・換算差額等	2,672	△ 2,460	△ 5,133	—
少数株主持分	3,640	4,217	577	+ 15.9%
純資産合計	245,441	236,150	△ 9,290	△ 3.8%
負債純資産合計	313,356	300,311	△ 13,044	△ 4.2%

連結売上高

(百万円)	2008年 3月期	2009年 3月期	前期比	増減率
連結 売上高	252,746	247,192	△5,553	△2.2%

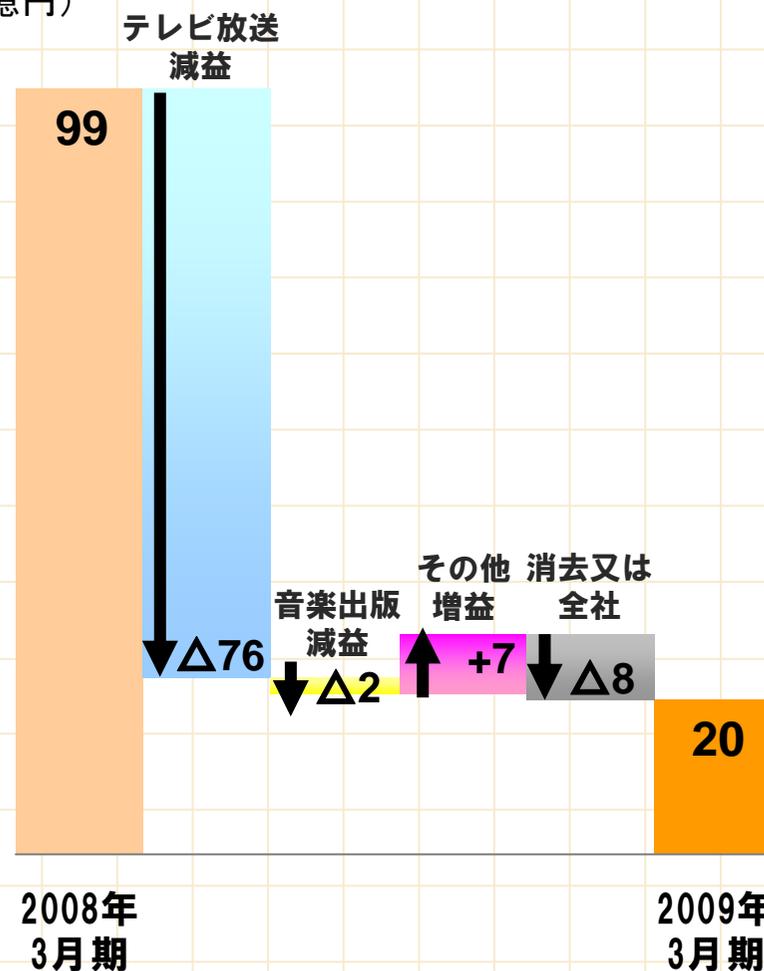


- ◆ 個別の出資映画事業等が牽引し【その他事業】が増収となったものの、スポット広告市況の急激な悪化により、【テレビ放送事業】が大幅な減収となった。

連結営業利益

(百万円)	2008年 3月期	2009年 3月期	前期比	増減率
連結 営業利益	9,976	2,015	△7,961	△79.8%

(億円)



- ◆ 大型単発番組を多数編成したことにより個別の番組制作費が増加。人件費や経費等のコストコントロールに努めたものの、大幅な減益となった。

テレビ放送事業

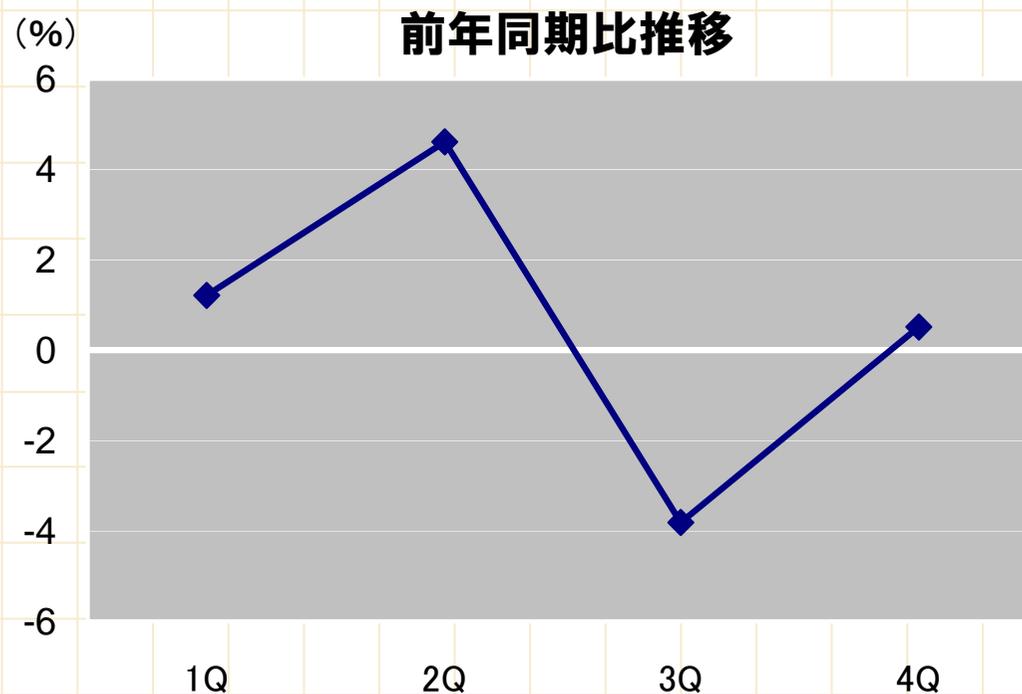
(百万円)	2008年3月期	2009年3月期	前期比	増減率
売上高	220,481	213,875	△ 6,605	△ 3.0%
タイム収入	95,474	96,129	+ 655	+ 0.7%
スポット収入	97,916	86,026	△ 11,890	△ 12.1%
番組販売収入	12,227	12,195	△ 32	△ 0.3%
その他収入	14,862	19,525	+ 4,662	+ 31.4%
営業利益	5,704	△ 1,959	△ 7,663	—

- ◆ タイム収入は北京五輪や開局50周年記念番組などが牽引し増収を達成するも、スポット収入が市況の急激な悪化で大幅な減収となり、広告収入は112億円の減収。
- ◆ その他収入は、(株)日本ケーブルテレビジョンの連結子会社化などの影響により増収。

タイム収入の動向（個別）

	上期 前年同期比	下期 前年同期比	通期 前期比	金額 (百万円)	前期比 (百万円)
タイム収入	+ 3.0%	△ 1.8%	+ 0.5%	96,275	+ 520

- ◆ レギュラー番組は、視聴率が好調な番組のカロリーアップや、一社提供番組の導入などで増収を図ったものの、経済環境の悪化による全体的な料金ダウンで、前期を下回った。
- ◆ 単発番組は、「北京五輪2008」や「W杯アジア地区最終予選」「警官の血」「WBC東京ラウンド」等で高カロリーのセールスを行うことができ、増収となった。



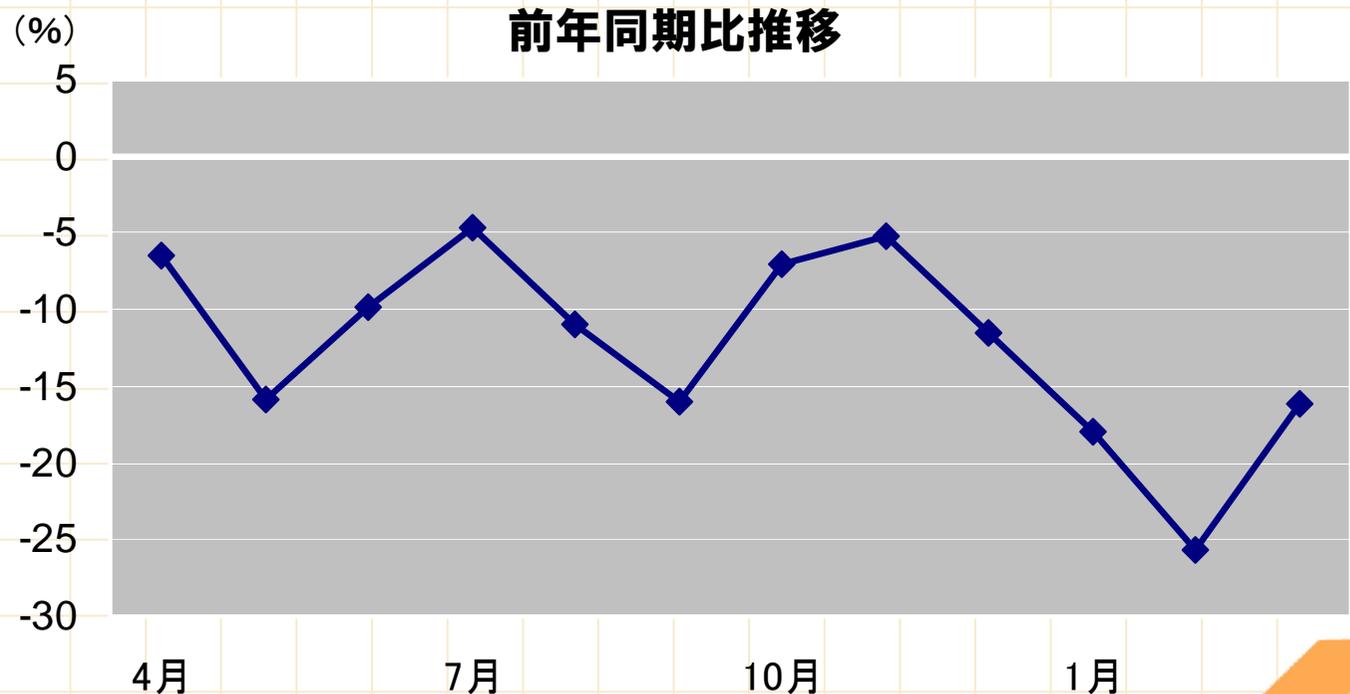
スポット収入の動向（個別）

	上期 前年同期比	下期 前年同期比	通期 前期比	金額 (百万円)	前期比 (百万円)
スポット収入	△ 10.5%	△ 13.7%	△ 12.1%	86,053	△ 11,873

- ◆ 通期の東京地区スポット投下量は、87.6%と過去最低の下げ幅。
- ◆ 地区シェアは前年と同数字にとどまるも、売上実額で初めて3位となった。

関東地区投下量シェア 21.3%
(前年同期シェア) 21.3%

※ シェアに関しては見込み



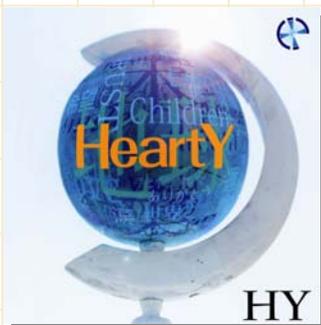
スポット業種別動向

	2009年3月期		2008年3月期	
	前期比	シェア	前期比	シェア
基礎材	48.2%	0.5%	66.9%	0.9%
食品・飲料	92.4%	23.7%	99.3%	22.5%
薬品	83.9%	7.9%	115.3%	8.3%
化粧品・洗剤	87.7%	5.9%	106.2%	5.9%
衣料・身の回り	83.9%	1.3%	94.5%	1.4%
出版	79.7%	4.1%	79.7%	4.5%
一般産業機器	112.3%	0.5%	106.1%	0.4%
精密・事務機器	114.1%	2.8%	117.9%	3.4%
電気機器	91.1%	9.5%	93.5%	9.1%
輸送機器	87.0%	7.2%	85.8%	7.3%
家庭用品	84.7%	3.9%	107.4%	4.1%
住宅・建材	76.0%	3.2%	118.6%	3.7%
卸売	86.0%	3.0%	112.4%	3.0%
金融・保険	78.8%	5.4%	89.4%	6.0%
サービス・娯楽	87.2%	17.9%	97.8%	16.8%
その他	105.4%	3.2%	101.7%	2.7%
合計	87.9%		98.5%	

音楽出版事業

(百万円)	2008年3月期	2009年3月期	前期比	増減率
売上高	9,697	9,565	△ 131	△ 1.4%
営業利益	1,763	1,541	△ 221	△ 12.6%

- ◆ 音楽業界全般が不振の中、“ケツメイシ”や“HY”のアルバムのリリース、楽曲配信の拡大などにより堅調に推移。



4月16日発売
HY『HeartY』



6月25日発売
ケツメイシ『ケツノポリス6』



8月27日発売
湘南乃風『恋時雨』

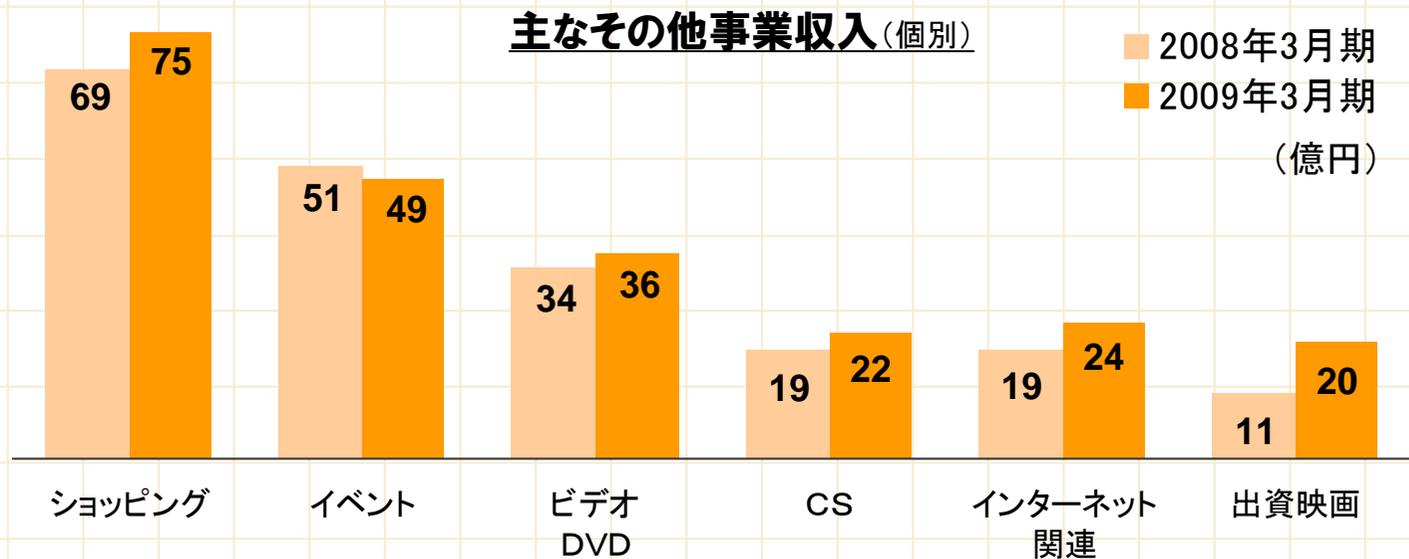


2月25日発売
湘南乃風『親友よ』

その他事業

(百万円)	2008年3月期	2009年3月期	前期比	増減率
売上高	32,123	33,873	+ 1,750	+ 5.5%
営業利益	1,705	2,477	+ 771	+ 45.2%

◆ 個別の出資映画、ショッピング、インターネット関連等が増収を牽引。



主なその他事業収入の増減要因（個別）

	実績	前期比	主な増減要因
ショッピング	75億円	+ 9.4%	朝のショッピング枠「ちい散歩」のセールスが引き続き好調。
イベント	49億円	△ 4.5%	「SUMMER SONIC 08」「スウィング」「オンタマカーニバル 09」等が牽引するも、減収。
ビデオ・DVD	36億円	+ 7.3%	「相棒」シリーズや、「アメトーーク」「内村プロデュース」などが増収に寄与。
CS	22億円	+ 14.8%	CATVを中心に「テレ朝チャンネル」の加入世帯数が増加。（2009年3月末現在 254万件）
インターネット関連	24億円	+ 24.7%	「テレ朝サウンド」など放送連動コンテンツの充実やクロスメディアセールスの積極展開により増収。
出資映画	20億円	+ 79.5%	「相棒－劇場版－」が大ヒット。その他「仮面ライダー－戦隊」シリーズを4作品公開し、いずれも好評。

番組制作費（個別）

(百万円)	2008年3月期	2009年3月期	前期比	増減率
番組制作費	89,258	90,368	+ 1,109	+ 1.2%

◆ 前期比での主な増減要因

● レギュラー

- 土日・深夜帯を中心とした番組制作費の削減
- 制作費の効率運用の徹底

● 単発番組

《前期》

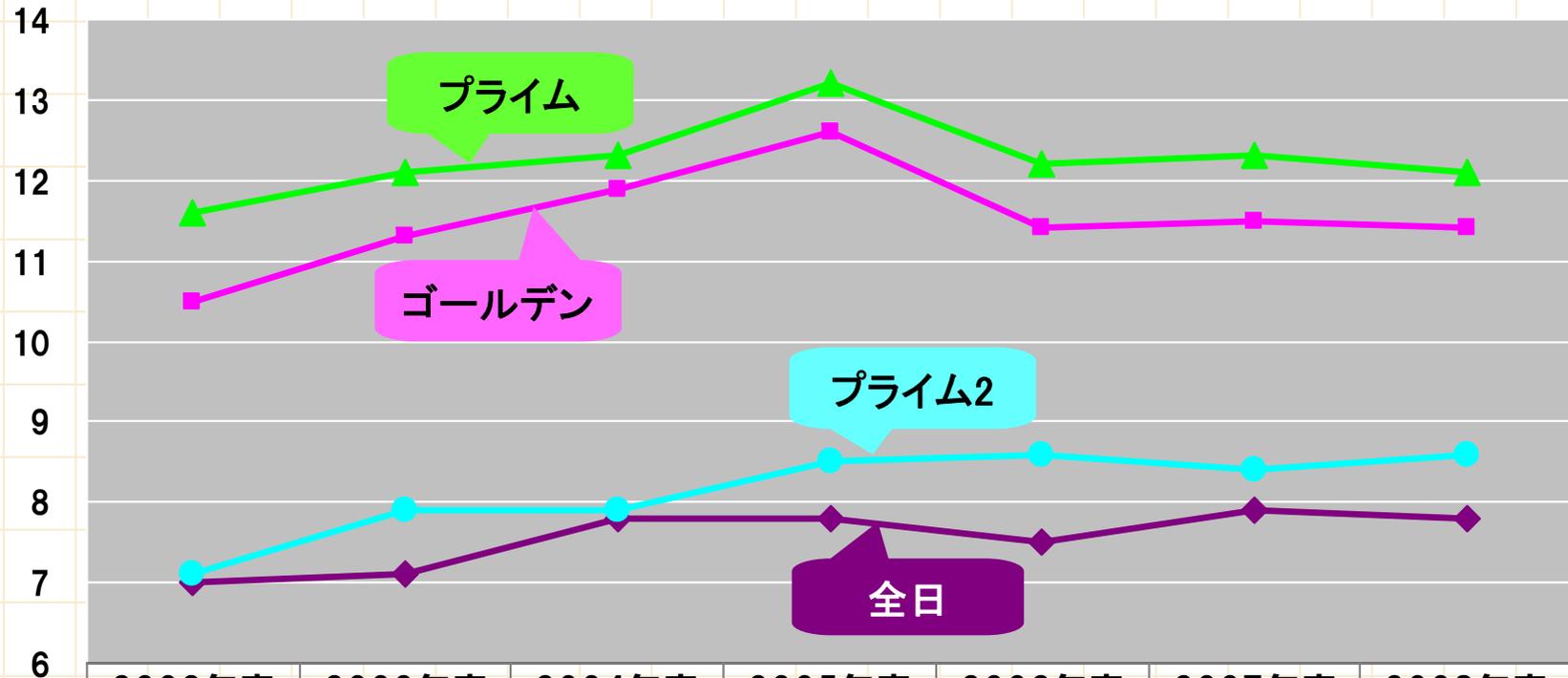
- 大型ドラマ「点と線」「鹿鳴館」他（計11本）
- サッカー「アジアカップ」「五輪予選」
- 野球「日本シリーズ(1試合)」「北京五輪予選」

《当期》

- 北京五輪
- 50時間テレビ「警官の血」等
- 大型ドラマ「氷の華」「男装の麗人」他（計13本）
- サッカー「W杯最終予選」
- 野球「日本シリーズ(4試合)」「WBC」



視聴率の推移



	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
◆ 全日	7.0	7.1	7.8	7.8	7.5	7.9	7.8
■ ゴールデン	10.5	11.3	11.9	12.6	11.4	11.5	11.4
▲ プライム	11.6	12.1	12.3	13.2	12.2	12.3	12.1
● プライム2	7.1	7.9	7.9	8.5	8.6	8.4	8.6

(出典: ビデオリサーチ)

2008年度視聴率トピックス

	テレビ朝日			日本テレビ			TBS			フジテレビ			テレビ東京		
全日	③	7.8	-0.1	②	8.3	±0.0	④	7.5	-0.1	①	8.5	-0.2	⑤	3.5	-0.3
GH	③	11.4	-0.1	②	12.4	+0.3	④	11.2	-0.5	①	13.3	-0.5	⑤	7.7	-0.6
PT	③	12.1	-0.2	②	12.4	+0.2	④	11.1	-0.5	①	13.4	-0.2	⑤	7.3	-0.6
PT2	①	8.6	+0.2	③	7.3	+0.4	④	5.9	-0.1	②	7.8	-0.2	⑤	3.5	-0.3

※ ○の数字は民放順位 (出典:ビデオリサーチ)

- ◆ プライムは3位、3位以上は4年連続。
- ◆ 全日は2年連続の3位、7.8%は開局以来2番目タイの高さ。
- ◆ ゴールデンは民放3位、民放3位以上は28年ぶり3回目。
- ◆ プライム2は4年連続の1位、8.6%は設定以来最高タイの高さ。

4月改編と今後の主な特別編成

4月改編

- ◆ 土・日19時～20時台の枠構造の見直し
 - 土19～21時「サタスペ」、日19時「大人のソナタ」、日20時「劇的ビフォーアフター」
- ◆ レギュラードラマ
 - 水21時「臨場」、木20時「京都地検の女」、木21時「夜光の階段」、金21時「必殺仕事人 2009」、金23時「名探偵の掟」
 - ➔ 他局が大規模な改編を行うなか、あえて改編率を最小限に留めた。
 - ➔ 足下の視聴率は好調。 全日:3位、P:2位、G:民放2位、P2:1位

今後の主な特別編成予定

- ◆ スポーツ
 - 6月6日、10日、17日「サッカーW杯アジア地区最終予選」
 - 7月19日～8月2日「世界水泳ローマ大会」
- ◆ ドラマスペシャル
 - 「刑事一代」「結婚」「だましゑ歌麿」



2010年3月期 放送外事業の主なトピックス

音楽出版事業

- ◆ 湘南乃風 4/8 アルバム「JOKER」リリース

その他事業

- ◆ ショッピング 引き続き好調な「ちい散歩」に加え、数本のショッピング特番を放送予定
- ◆ イベント 「阿修羅展」が好評、「オンタマLIVE」等の手打ち物件を強化
- ◆ ビデオ・DVD バラエティー番組のDVD化を推進、下期に「相棒 season7」リリース
- ◆ グッズ 「とったど〜!よみこの無人島生活。」「相棒」に続く番組のゲーム化を計画中
- ◆ CS CATV局への営業を強化し、今後も契約者数を伸ばす
- ◆ インターネット 番組連動コンテンツの充実とクロスメディアセールスの推進
- ◆ 出資映画 「レッドクリフ PART2」が大ヒット中、6月「真夏のオリオン」公開

設備投資と減価償却費

	2009年3月期 実績		2010年3月期 見込	
	連結	個別	連結	個別
設備投資額	228億円	198億円	80億円	60億円
減価償却費	90億円	86億円	110億円	105億円



2010年3月期業績見通し

連結 (百万円)	第2四半期 連結累計期間	前年同期比	通期	前期比
売上高	112,500	△ 10.1%	229,500	△ 7.2%
営業利益	△ 2,500	—	4,100	+ 103.4%
経常利益	△ 1,600	—	5,500	+ 59.7%
当期純利益	△ 1,800	—	3,400	—

個別 (百万円)	第2四半期 連結累計期間	前年同期比	通期	前期比
売上高	101,000	△ 8.7%	205,000	△ 7.2%
営業利益	△ 3,400	—	2,100	—
経常利益	△ 2,200	—	4,000	467.3%
当期純利益	△ 1,500	—	2,700	—

	上期	下期	通期
タイム	△ 11.5%	△ 6.5%	△ 9.0%
スポット	△ 9.9%	△ 3.5%	△ 6.8%

番組制作費 753億円

代表取締役社長

君和田正夫



重点課題①

番組制作費・経費・組織・業務の 徹底的な見直しと効率化

[番組制作費・経費]

- ◆ 選択と集中を徹底したタイムテーブルの改革を行い、番組制作費の圧縮を図る。
- ◆ 大型スポーツ物件についても中期プランを構築し、より効率的・効果的な展開を図る。
- ◆ 経費の見直しを今後も更に進める。

[組織・業務]

- ◆ 全社的な業務の見直しなどにより、業務・組織のスリム化を図る。
- ◆ グループ経営として最適な組織や今後のグループ戦略を、スピードを重視しながら構築していく。



重点課題②

コンテンツを軸とした 収益機会の拡大

[編成]

- ◆ 視聴率を取ることはもとより、“収益を拡大すること”により重点を置いたタイムテーブルの構築を行う。
- ◆ 広告外事業に対する地上波編成の支援も積極的に行う。

[組織・業務]

- ◆ クロスメディア営業やライセンス関連も含めた最適な体制への組織の再編を行う。
- ◆ コンテンツ収支を活用し、制作現場にも収益に関する責任を分担する。

[協業・提携]

- ◆ 朝日新聞社・KDDIとの協業の推進。
- ◆ シンエイ動画、東映アニメーションを軸としたアニメ事業の推進。

1株当たり配当金

2009年3月期

◆ 第2四半期末

普通配当 1,000円

◆ 期末

普通配当 1,000円

記念配当 1,000円

合計 3,000円

2010年3月期 (予定)

◆ 第2四半期末

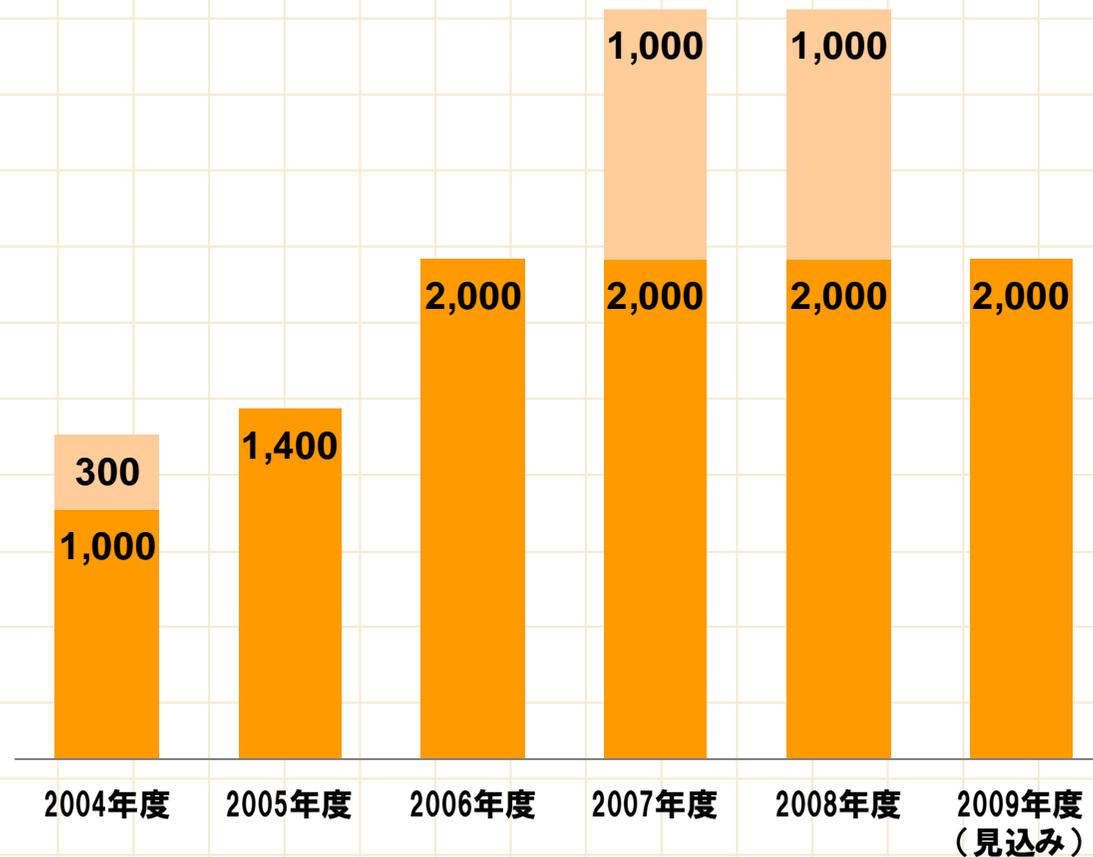
普通配当 1,000円

◆ 期末

普通配当 1,000円

合計 2,000円

■ 普通配当 ■ 特別配当・記念配当 (円)



資料に記載されている当社の計画、見通しなどのうち、歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報から作成されたものであり、何らの保証やコミットメントを与えるものではありません。

実際の業績は様々な重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

Homepage Address <http://company.tv-asahi.co.jp/contents/IR/index.html>

IRホームページの充実にも努めております。ぜひ一度ご覧ください。

<http://www.tv-asahi.co.jp>

NEW AIR, ON AIR.
tv asahi

